CFモスシステム

コケ緑化は、日本に自生する「スナゴケ」を用い、その強い生命力を生かした、緑化工法です。

潅水、刈込み、施肥などのメンテナンスをほとんど必要とせず、究極の低ランニングコスト緑化を実現します。

また、私共のコケ緑化は、繁茂密度100%のコケマットを飛散防止メッシュで覆い一体化したものを使用しており、

コケの飛散、剥がれなどを防止し、コケの成長により、コケがメッシュを覆って、コケによるサーフェイスを形成します。

製造時のコケマット

成長時のコケマット(約1年)

※成長は、施工現場の環境によって異なります。

1. コケマット工法

コケマットを屋上面に直接接着する工法で、屋上面の強い風圧に対しても、飛散などのない高い安全性を有します。

金属屋根(瓦棒屋根)施工例

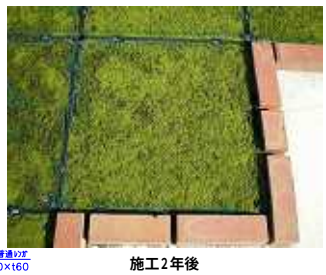
耐水エポキシボンドを用いた“直接接着”施工は、簡単で高い施工性により、スピーディーな施工が可能です。

また、施工場所を選ばず、屋上面から従来施工が困難であった金属屋根面まで、幅広い緑化を可能にします。

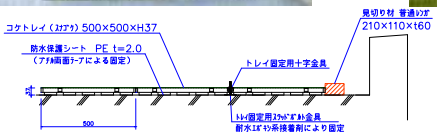
2. コケトレイ工法

コケマットをトレイに格納し、そのトレイを屋上面に固定し、緑化を完成します。

コケトレイ



施工2年後



コケトレイ設置断面図

５００mm×５００mmの成型トレイを使用することにより、確実に固定することができ、屋上面との間の空隙により高い排水性を持ち、防水面に影響を与えません。

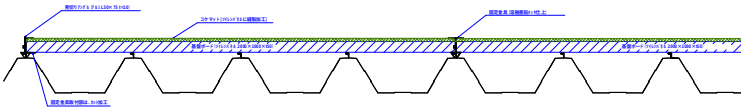
また、部分交換等の補修も簡単に行えます。

3. コケパネル工法

コケマットを発泡スチレンフォームと一体化(パネル化)し、そのパネルを敷詰めることにより、緑化が完成します。

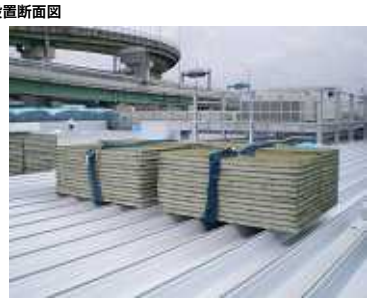
屋上面から、金属屋根(折板屋根)まで、設置面を選ばず、また、発泡パネルによる高い断熱性を持っています。

(JIS A9511 XPS-B-3b 熱伝導率 0.028W/m･k以下)



折板屋根設置断面図

折板屋根施工例



コケパネル